

【取組内容①】評価基準の児童との共有、振り返りの蓄積による授業実践

- ・1年音楽（みんなであわせてたのしもう）
「こいぬのマーチ」をもとにして、自分たちで歌詞とリズム伴奏を考え、オリジナルの「1の2どうぶつマーチ」をつくる。
- ・評価基準を児童と共有することで、活動内容を明確にし、主体的に学習できるようにする。（図1）
- ・児童が自分でめあてを選択することで、目的をもって学習に取り組むことができるようにする。（図2）
- ・リズム伴奏を考える場面では、協働的な学びの実現に向けて、Google Jamboardを使った話し合い活動を行った。話し合いを通して、リズムや楽器の自己決定、自己調整を行った。（図3）
- ・学習のふりかえりは、Google Jamboardで行った。共同編集にすることにより、他の児童とも学んだことを共有できるようにした。

2月8日のもくひょう

じぶんの ぴったリズムと ぴったがっきを
かんがえることができる。ともだちに ぴったりなところや
アドバイスを つたえることができる。

図1

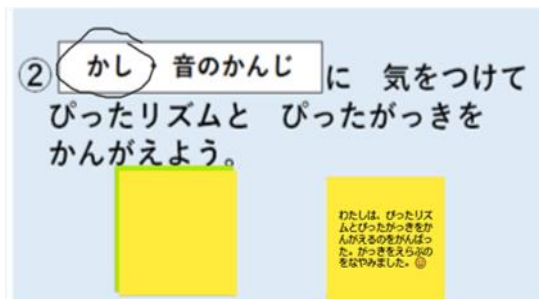


図2



図3

・取り組みのふりかえり今後の課題など

自分一人では、自己決定や自己調整が難しい子どもたちが多いが、話し合いを行うことで、ほかの友達の考えに触れ、よりよいリズム伴奏にしたり、自分の意見を明確にすることができていた。また、Google Jamboardを用いたことで、さまざまなリズムや楽器を簡単に入れ替えることができるため、子どもたちが試行錯誤をしながら学習に取り組むことにつながった。